



星空シアター・水子貝塚まつり開催！



9月7日に水子貝塚公園において、星空シアターが開催されました。今年は5年に一度の水子貝塚まつりも兼ねており、いつも以上の盛り上がりを見せました。

中でも、開園30周年特別企画「火おこしチャンピオンシップ」は多くの参加者を得て、熱い戦いが繰り広げられました。火種が落ちてもなかなか火がつかなかったりと、やきもきする展開もあり、白熱したレースとなりました。そして、ついに火を着けたのは、中学生と小学生の兄妹コンビでした。

優勝者と準優勝者には、当館館長お手製の縄文土器優勝カップが贈呈されました。

日も暮れ、あたりが暗くなったところで映画の上映が始まりました。今年は「ミニオンズフィーバー」を上映しました。思い思いの場所で映画を楽しんだ後は、皆さんゴミの分別にもご協力いただきありがとうございました。

また、来年も楽しんでいただけるイベントになるよう、職員一同頑張りたいと思います。

開催にあたり、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



縄文の森から

縄文の森は実りの秋を迎えて、多くの木々や野草たちが実をつけています。

植物は実を付けて、その種子を散布（ばらまく）することで次の世代を確保し、分布を拡大するものが多く、その散布・移動方法は様々です。

カエデは翼のついた実（翼果）、アカシデは堅果に果苞という翼を付け風にのせて飛ばします。

クヌギなどのドングリは落とした実が動物に蹴られたりして地面を転がることで運ばれます。実ではありませんが、ヤマノイモのむかごも同様です。

ムクノキやエノキの実は鳥などに食べられ、種は別の場所でフンとして出されることで運ばれます。

チヂミザサの実は粘液で動物に付着して運ばれ、ヤブツルアズキは鞘が弾けて種を飛ばします。

水子貝塚公園では、他にも多くの植物の実や種を見ることができますが、中には種以外の別の方法で、繁殖・分布拡大する植物も多く見られます。

たとえば、数十年単位でしか花を咲かせて実を付けないで、主に地下茎で分布を広げるクマザサ、球根で増えるヒガンバナ、地上を這う茎から根を出して増えるチドメグサ、先に紹介したヤマノイモのむかごなど、様々な増え方をする植物が見られます。

このような、種子を作らずに親の体の一部を使って繁殖する無性生殖を栄養繁殖（栄養生殖）と言って、自然が作り出すクローンです。

種や実、植物全体の形をよく観察して、どんな植物が、どのように方法で仲間を増やし、分布を広げてゆくのかを想像して、実際に確かめてゆくことは、植物と他の生き物との関係をより深く知るきっかけの一つになるでしょう。



イロハカエデ



アカシデ



クヌギ



ヤマノイモのムカゴ



ムクノキ



エノキ



チヂミザサ



ヤブツルアズキ



クマザサ



ヒガンバナ



チドメグサ

資料館 イチ おし!



犬の骨（水子貝塚）

平成4年(1992)に発見されました。15号住居跡の柱穴に埋葬されていました。全身が残っていますが、土に接していたため劣化しており、頭部のみ展示しています。生後1年くらいの雄と鑑定されています。

犬は、縄文時代に飼育されていた数少ない動物です。愛玩用（ペット）や食用ではなく、狩猟の手伝いをしていたようです。

この骨を科学分析したところ、水産物（おそらく魚）を、人間以上に多く食べていたことがわかりました。意外に感じましたが、江戸時代以前は、犬の餌として魚は普通だったようです。犬自身が

海や川で魚を捕ることは稀でしょうから、人間が食べ残した魚やその骨を食べたように思えます。

同じ住居跡の別の柱穴からも、犬の牙を加工したペンダントが見つかっています。二つの柱穴の間には壮年（30～40代）の女性の骨が葬られていました。この女性は、犬とゆかりがある特別な人だったのかもしれませんが。



32年ぶりの発掘始まる!

史跡水子貝塚では、10月から32年ぶりに、公園再整備のための発掘調査を開始しました。現在は、写真のようにトレンチという溝を十字に掘り、遺構の様子を確認しています。トレンチの大部分は、縄文時代前期の竪穴住居跡にあたり、そこから貝層と、たくさんの縄文土器の破片や磨製石斧が出土しています。今後は、この4分の1の範囲を詳しく発掘調査する予定です。

前回の32年前の調査では、竪穴住居の貝層から埋葬人骨や犬骨を発見し、貴重な資料を得ることができました。さて今回の調査では、一体どんな発見があるのでしょうか。皆様お楽しみに!

水子貝塚 R6 地点（水子貝塚公園内）
調査期間 令和6年10月9日～



発掘現場の様子

11～1月のイベント予定

* イベント予定は変更することがあります
最新の情報は広報富士見か公式サイトで

縄文フェスタ

日時 11月16日(土) 10:00～16:00

悪天候の場合は11月17日(日)に順延

内容 縄文グルメフェス

キッチンカー7店が縄文文化にちなんだ飲食物を販売!

縄文ミニビアフェス

クラフトビール5社が集結

縄文体験

5種目すべてを終了した方に記念品を差し上げます(先着100名)

熱気球体験

大人1,000円、子ども500円

※当日整理券配布

ツリークライミング体験

1500円(6歳～大人)

その他、ステージ演奏、水子貝塚発掘現場の公開、水子貝塚公園30年アルバム展など盛りだくさん!

埼玉ミュージアムカード 配布開始!

日時 10月12日～12月15日

当館を含む県西部の25施設で各館独自のミュージアムカードを配布中!(なくなり次第終了)。是非この機会にご来館ください。

土器づくり教室

市内出土の縄文土器をモデルに土器を作ります。

日時 ①12月1日(日) 10時～16時

事前学習、粘土こね

②12月15日(日) 9時～17時

土器の成形

③12月22日(日) 10時～12時

土器のみがき

④1月19日(日) 10時～14時

土器の焼成

費用 500円 対象 小学4年生～大人

受付 11月1日9時から電話にて受付

年末年始休館

12月29日～1月3日は休館です。公園はご利用いただけます

土曜おもしろミュージアムランド

会場 体験学習室または学習広場

時間 午前10時～、午後1時30分～
各1時間程度

定員 各15人(当日先着順)

対象 小学生以上
(未就学児は保護者同伴で可)

日程	内容(参加費)
11月2日	貝のアクセサリ(100円)
12月14日	クリスマスリース(100円)
21日	どんぐりカレンダー(400円)
1月18日	アングイン編み(100円)



発行日 令和6(2024)年10月27日

編集・発行 富士見市立水子貝塚資料館

国指定史跡 水子貝塚公園内 〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP
二次元コード



☎ 049-251-9686

FAX 049-255-5596

